古河赤十字病院広報誌

雪華

ゆきはな

ご自由にお持ち下さい
Take Free

2022年 Vol. 43

雪華の由来 古河藩主・土井利位が刊行した「雪華図説」にちなみ、当院と地域の繋がりをこの誌名に込めています。

◆おうちでできる！　“おねしょ”対策　～とらの巻～

◆新任常勤医師のご紹介

◆災害大国日本と感染症対策、そして在宅医療・看護・介護

選定療養費についてのお知らせ

国の方針に則り、2022年10月より
選定療養費が変更となります。

初診：7,700円（旧5,500円）
再診：3,300円（旧2,750円）

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society
古河赤十字病院

おうちでできる！
“おねしょ”対策 ～とらの巻～

小児科副部長
別井 広幸（べつい　ひろゆき）
日本小児科学会認定専門医・指導医
日本腎臓学会認定専門医

今回は、“おねしょ”　「夜尿症（やにょうしょう）」　についてのお話です。

おねしょは、100人の赤ちゃんが産まれたとしたら、就学直前の5～6歳で約20人、小学校低学年で約10人台、10歳を超えると5人前後になり、15歳時には1人程度まで減ります。

多くのお子さんは成長とともに自然になくなるのですが、次のような対策を取り入れることで、より早く良くなることが期待できます。

おうちでできる（おうちでしかできない）その奥義をご紹介します。

【その１】

夜の水分摂取をひかえめに　～飲水は朝や日中をメインに～

夕食は腹八分目とし、少なくとも午後7時までには済ませましょう。午後6時までに終われば、なお良いでしょう。さらに就寝前2時間半の飲水を控えましょう。そのためには、塩分を多く取ると余計に水分を欲しがりますので、夕食の塩分は控えめにします。夜に控えた水分は、朝やお昼に飲ませてあげましょう。

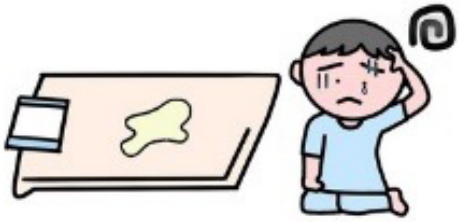
またお風呂が熱かったり長かったりすると、水分を欲しがる原因になってしまうのでご注意を。喉が渇いたら、水の代わりに氷をほおばるのも有効です。ただし、熱帯夜のようなときには、飲水制限で脱水になってしまう可能性もありますので、しっかり飲ませてあげましょう。

【その２】

寝る前にトイレを　～儀式化しよう～

寝る前に必ずトイレに行って、「おやすみなさい」と言ってから寝ましょう。就寝前に排尿しないでいつの間にか眠ってしまうという習慣をなくすためです。

遅くまで起きているようなことはやめて、就寝時刻、起床時刻を決めて守りましょう。



【その３】

規則正しく、ゆったりとした排便を　～めざせ快便～

便がたまると膀胱を刺激したり圧迫したりして、必要なおしっこ量が貯めづらくなります。毎日一定の時刻に（朝食後や夕食後）、５～１０分くらいの十分の時間をかけて、排便する習慣を養ってください。２日続けて排便できないことが多ければ、便秘の治療が必要です。

後列（左）小児科看護師２名　　（右）安済小児科副部長
前列（左）中島小児科部長　　（右）別井小児科副部長

【その４】

オムツの常用を避ける　～パンツの着用を～

濡れても快適なオムツに頼ってしまいがちなお子さんがいますので、ときどき１～２週間のパンツ着用期間を設け、意識づけを図りましょう。

【その５】

おねしょしても叱らない　　～親子関係を楽しむ～

残念ながら叱責してもよくなりません。

度重なるお小言は、お互いのストレスを増やすだけにとどまってしまいます。

お子さんのやる気を維持させる意味でも、むきにならず、あせらず、良好な親子関係を保つことができるように取り組んでいきましょう。

【最後に】

これらのことに注意して、“おねしょ”が前年と比べて頻度が少なくなったなどの改善がみられるようであれば、それ以上の介入が必要になることはあまりありません。そうは言っても、親御さんにしてみれば「うちの子、大丈夫かしら？」などの一抹の不安をお持ちになることがあると思います。その際はぜひ、お気軽にご相談ください。

また、年長さんになっても、起きているときに、“おもらし”（「昼間尿失禁」と言います）を伴うような場合にも、ご相談いただければと思います。

新任常勤医師のご紹介

小児科　安済 達也 医師

メッセージ

この地域の小児医療に貢献できるよう精一杯頑張りたいと思います

出身地 群馬県
趣　味 ゲーム

形成外科　森下 悠也 医師

メッセージ

自治医科大学より参りました。ケガ・傷から身体の変形・欠損まで、全年齢の患者様の治療をさせていただきます。形成外科全般を取り扱い、専門は頭蓋顎顔面（美容・骨・鼻）、小児形成です。形成外科・美容外科の関してお困りの事がありましたらお気軽に御相談下さい。

出身地 千葉県
趣　味 仕事・手術

外科　齋藤 晶 医師

メッセージ

4月から就任しました外科の齋藤晶です。より良い診療を皆様に届けていけるよう日々努めて参ります。
よろしくお願いいたします。

出身地 埼玉県蕨市
趣　味 映画鑑賞

内科　渡邉 裕介 医師

メッセージ

循環器内科を専門にしております。
自治医科大学さいたま医療センターからきました。
地域のお役に立てる様に頑張りますのでよろしく御願いします。

出身地 茨城県
趣　味 散歩

外科　須藤 慧多 医師

メッセージ

自治医科大学より参りました。
消化器を専門に診療させていただきます。
何卒よろしくお願いいたします。

出身地 栃木県
趣　味 旅行・映画鑑賞

内科　近藤 泰之 医師

メッセージ

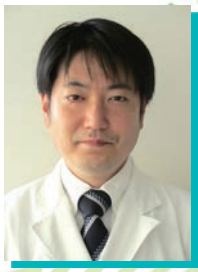
自治医科大学附属病院から赴任しました。よろしくお願いいたします。

出身地 東京都
趣　味 散歩

内科　森野 諄紀 医師

メッセージ

自治医科大学附属さいたま医療センターより参りました。
腎臓疾患を中心に診療させていただきます。地域の皆様のために頑張りますので宜しくお願い致します。



出身地 埼玉県
趣　味 映画・ドラマ鑑賞

内科　由本 しおり 医師

メッセージ

自治医科大学より参りました。
消化器疾患を中心に診療させていただきます。少しでも地域の皆様のお役に立てるよう努めさせていただきます。
どうぞ宜しくお願い致します。

出身地 千葉県
趣　味 映画鑑賞

内科　青田 宏人 医師

メッセージ

循環器(心臓)疾患を中心に診療させて頂きます。患者さまに寄り添った治療・診療を心がけております。少しでも皆様の力になれるよう頑張ります。
どうぞよろしくお願い致します。

出身地 東京都
趣　味 旅行・スポーツ観戦

内科　赤池 永成 医師

メッセージ

自治医科大学さいたま医療センターより参りました循環器内科専攻医の赤池と申します。半年間という短い間ではありますが、精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

出身地 東京都
趣　味 楽器演奏・ドライブ

この地域に住みたい

だからこそ豪雨、台風による水害対策について

総務課長　秋山　和夫

直近、この地域での災害としては、平成27年9月の関東・東北豪雨による常総市を流れる鬼怒川で数か所の堤防が決壊し、人的被害死亡2名、重傷3名、中軽症41名で約40ｋ㎡が浸水し、多くの家屋や事業所に浸水の被害を受けました。

※詳しくは、常総市災害記録をご参照ください。「忘れない9.10」で検索願います。

また、令和元年10月の台風19号による大雨では古河市住民約1万人が避難するという事態がおき、幸いにして利根川、渡良瀬川の氾濫はなく災害まで至りませんでしたが、このような状況が年々増加しており、古河市地域防災計画も古河市で最も大きな被害をもたらす災害は、水害であるとし災害想定の順序を地震と入れ替えたようです。

風水災害は、地震や爆発など突発的災害ではなく予知ができる進行災害ということで、予め想定した警戒レベルごとの事前準備をし、水害対策（ハード面含め）と、被災時の病院機能を早急に復旧させることがもっとも重要であると考えております。

特に、当院はこの地域の災害拠点病院であり、日本赤十字社として災害時は、被災地への救護班の派遣はもちろんのこと、地域住民の災害救護活動等を任務として行うことから、水害対策BCP（※1）を策定し、防災訓練と水害対策訓練を実施しました。

このようなＢＣＰの策定、訓練は、災害が起きたときでも病院機能を継続させ、地域の皆さまが安心して当院をご利用できること、また、入院患者さま、職員の安全を守ることを目的に行っております。

最後に、是非この機会に、古河市洪水ハザードマップ・ガイドブック（※2）に目を通していただき、ご自身・ご家族を守るべく再確認をしてみてください。

※1　ＢＣＰとは「Ｂｕｓｉｎｅｓｓ　Ｃｏｎｔｉｎｕｉｔｙ　Ｐｌａｎ」の頭文字を取った言葉で、「事業継続計画」と呼ばれています。

※2　古河市洪水ハザードマップ・ガイドブックは、古河市ホームページより一括ダウンロードできます。

当院は、敷地内含め全館禁煙です。

トイレ、ベンチ、駐車場…病院敷地内での喫煙はNG！

当院は、敷地内および全館禁煙です。地域のみなさまの健康を守るため、ご協力をお願い致します。

敷地内含め全館 禁煙 NO SMOKING

いのちのエンジニア　ーCLINICAL ENGINEERー

臨床工学技術課長　黒田　剛志

『 臨床工学技士 』 という職種をご存知でしょうか？

病院の中では、医師や看護師の他にも様々な医療技術者が働いていますが、臨床工学技士（国家資格）もその一職種です。

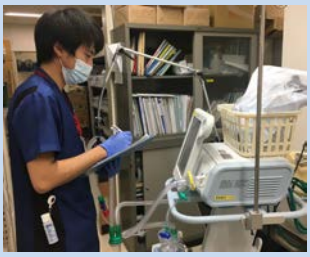
臨床工学技士は、その名の通り、医学と工学の知識を併せ持つ現在の医療に不可欠な医療機器のスペシャリストです。医師の指示のもとで、血液浄化装置や人工呼吸器、人工心肺装置などの生命維持管理装置を操作するとともに、医療機器が安全に正しく使用できるように保守・点検を行うなど、チーム医療を担う一員として臨床現場を支えています。

今回は、当院で行っている臨床工学技士の業務について紹介いたします。

①呼吸治療業務

肺の機能が働かなくなり、呼吸が十分にできなくなった患者さまには、呼吸を代行する人工呼吸器という装置が装着されます。

臨床工学技士は、人工呼吸器が安全に使用されているか、異常はないかなどを確認します。



②血液浄化業務

腎臓に疾患を抱え、体内に溜まった老廃物などを排泄あるいは代謝する機能が働かなくなった場合に行う治療で、血液透析療法、血漿交換療法、血液吸着法など様々な血液浄化療法が存在します。

穿刺や人工透析装置の操作を行います。

③手術室業務

手術室には大小・多種多様な医療機器が存在しますが、手術が円滑かつ安全に行われるよう機器の操作、管理を行っています。

④心血管カテーテル業務

心臓カテーテル検査は心臓病の診断をするための検査方法であり、手術の適応、術式を決定する重要な検査です。

機器を操作し検査一連の記録を行う他、緊急時には補助循環装置やペースメーカーなどを操作することもあります。

⑤集中治療業務

集中治療室では、呼吸・循環・代謝などの機能が急に悪化し、生命に関わる患者さまを収容して集中的に治療を行います。

人工呼吸器や持続的血液浄化装置などの生命維持管理装置の操作や管理を行います。

⑥ペースメーカー／ICD業務

不整脈に苦しむ患者さまに手術をし植込む機器である、ペースメーカーや植込み型除細動器（ICD）の管理や操作を行います。

⑦医療機器管理業務

①～⑥の他、医療施設の様々な分野で使用される医療機器を、安全に使用できるよう保守・点検を行います。医療機器の一括管理を行い、効率的に運用できるよう心がけています。

認知症看護認定看護師を目指して日々奮闘中！

看護師　大和田　茜

【認知症看護認定看護師を目指した動機】

せん妄とは簡単に言うと、病気や入院による環境の変化などで脳がうまく働かなくなり、興奮し、話し言葉や振る舞いに一時的に混乱が見られている状態です。例えば、人の区別がつかなくなったり、ないものが見えたり、ない音が聞こえたりすることや、ぼんやりしているかと思ったら急に感情を高ぶらせたりするなどが見られる状態をいいます。

今までの経験から、患者さまが入院よる環境の変化や原疾患の影響によって、せん妄が出現し、関わる中で対応の難しさを感じていました。また、その方のご家族さまの中には、患者さまの変化に対して戸惑いや、悲嘆が見られることもあり、憤りを感じることもありました。

そこで私自身が認知症やせん妄について、より専門的な知識を身につけ、みなさまにも知り得た知識や技術を伝えて行くことで、せん妄予防のケアの改善に貢献することができれば良いと思い、今回、認知症看護認定看護師を目指しました。

後列　左から、理学療法士、看護師、認知症看護看護師、社会福祉士
前列（左）横田脳外科部長（右）大和田看護師

【認知症看護認定看護師の教育課程を修了して】

認知症の患者さまは、人それぞれ多様性が有り、ケアの方法も異なります。関わる方が認知症やせん妄に対する正しい理解により、入院中であっても穏やかに過ごすことができるのではないかと思います。現在、私は認知症ケアチームの一員として、認知症看護認定看護師と共に活動をしています。その中で、教育課程で学んだことを基に、認知症やせん妄のある患者さまに対するその人らしさを踏まえた対応を考えています。また、多職種での意見交換や対応方法の共有を行い、ケアを統一できるような実践を行っています。認知症の患者さまが安心して入院生活を送れるために、認知症やせん妄に対する理解や、対応の考え方をスタッフ間で共有し、今まで以上に、ケアの統一した関わりができるように活動していきたいと考えます。そして、患者さまに安心して入院生活が送ることができるような関わりを行っていけるようにしていきたいです。

地域医療連携室
連携室だより
☎0280-23-7090（直通）

『災害大国日本と感染症対策、そして在宅医療・看護・介護』

古河市の2020年高齢化率は28.5％。いわゆる「2025年問題」が間近に迫り、安心して生活する為の準備は切迫した課題といえます。話しは換わり、当院の特徴の１つでもある災害救護。その災害救護訓練の中でみえた課題の１つに感染症対策があります。これはどのような災害であっても共通していえる事ですが、眼に見えないウイルス等と戦わなければならないという事です。避難所に関しても感染症対策は同様に課題であり、加えて認知症を抱えている方や障碍などから普段と違う環境に身を置く事がむずかしい方など、現にコロナ禍の災害で何重もの課題が浮き彫りになりました。

そのような観点からも、今改めて注目されているのが在宅診療です。通院が困難になった方など、様々な事情により自宅等で医療や看護・介護を受ける必要がある方などを対象としています。当院を受診された際に、在宅医療に関するご相談も患者サポートセンターにて対応しております。当然、主治医にご相談する事が必要ですが、その前に少し話だけでも聞いておきたいなど関心がありましたら、ぜひ患者サポートセンターにお声かけください。

“日本赤十字社では、平時より救護班の活動に関する訓練を実施しています”

かかりつけ医ご紹介

野木病院　在宅診療部　希望（のぞみ）

紹介文

平成20年10月に「ライフケアクリニック希望（のぞみ）」 として、訪問診療を開始。平成29年からは、組織変更により、「野木病院在宅診療部希望」と姿を変えて診療を続けております。野木町に止まらず、古河市全域を訪問エリアとしており、小児から高齢者まで、癌末期の患者さんにも対応しております。

古河赤十字病院の連携室には大変お世話になっております。退院前のカンファレンスに始まり、在宅療養中の急変にも対応して頂け、シームレスに診療ができていると感謝しております。

地域の皆さまへのメッセージ

栃木県の最南端で訪問診療を開始して、早14年目を迎えました。お隣の古河市の道路事情に知らず知らずのうちに詳しくなっておりました。道路事情に限らず、古河市内の各々の地域事情にも詳しくなりました。そして、何より嬉しい事は、以前訪問していた患者さんのご家族、ご親戚、お知り合いから訪問のご依頼があることです。地域に根差した「在宅医療」が今後も続けられるよう努力して参ります。訪問看護、訪問介護、訪問リハビリ、ケアマネージャーが一つになり、患者さんご本人とそのご家族が安心して、住み慣れた地域で過ごせることが、我々の希望（のぞみ）です。

基本情報

●**診療部長**：山路　義生（やまじ　よしお）順天堂大学出身
●**診察内容**：在宅医療（小児～高齢者）

https://www.nogihosp.or.jp/nogi-hospital/

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～18:00	○	○	○	○	○	―	―

※休診日：土曜日午後、毎日曜日、祝日、年末年始

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society　古河赤十字病院
〒306-0014　茨城県古河市下山町 1150 番地　TEL 0280-23-7111㈹／FAX 0280-23-7120㈹
ホームページ http://www.koga.jrc.or.jp/　休院日：日曜、祝日、第 2・第 4・第 5 土曜日、11/1（創立記念日）、12/29 ～ 1/3（年末年始）
古河赤十字病院　検索